

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカチホダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) コバヤシゼミナール
高千穂大学	経営学部	小林ゼミナール

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ビーチーム	フリガナ) カマタ ヨシユキ	7	無	4 3
B チーム	鎌田 儀行			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

落とし物ガイド

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

インバウンド増加による、訪日外国人への落とし物対策について

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

最近のラグビーW 杯や、これから予定されている 2020 東京五輪、大阪万博といった、国際的なビッグイベントによる、訪日外国人観光客の増加に伴い、訪日外国人増加による、落とし物事情について研究し、外国人が日本で落とし物をしてしまったり、拾ったりした時に、どのような方法を取れば良いかについてよりよく周知してもらう方法を見つけ出す。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

訪日外国人観光客が増加する中で、彼らの落とし物も見つかる国 = 日本にしたいと考えている。

その中で、実際、訪日外国人観光客が年々増加し、日本経済にも良い経済効果を生むなど、経済的にはメリットが多いが、外国人の訪日が増加することによって、メリットだけでなくデメリットも多くでてくると仮定した。そのなかでも、私たちの身近な問題でもある落とし物についてクローズアップした。外国人が来日している期間、外国人が落とし物をして、しっかり帰ってくるプロセスを伝える最善の方法を提案する。

実際日本国内の落とし物返却率は約 40%と数字自体はインパクトがないが世界的に見たときには、高い数字であるとされて

いる。この現状を元に、訪日する外国人に日本は落し物をしても帰ってくる、探す方法が沢山ある、ということを知ってもらうというのが目的で、このようなことを解決する方法を行っている団体などは、調べた中では存在しなかった。

3. 研究テーマの課題

日本人では当たり前の文化であるものが、訪日観光客からすると、当たり前では無いこと、知らない事を前提に物事の提案をしていかなければならない。すなわち、現状の落し物対策では、日本の価値観から、訪日観光客を助けようとしているため、それぞれの文化の違いや、国柄や風土についての配慮が取りていない。そこで、訪日外国人観光客一人一人に日本のルールやマナーを理解してもらえ環境づくりをし、そこから落し物についての理解や解決法を知ってもらう必要がある。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

- 1：当たり前であるが訪日外国人観光客が直接交番に行きやすい環境づくりの実現
- 2：落し物専用のミニガイドを訪日観光客向けに作成
- 3：交番での言葉の壁を減らす
- 4：近くの交番がどこにあるかを簡単に調べられるようなものを QR コードを活用し実現させる

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

今回は、高千穂大学のお膝元である、東京都と杉並区にスポットを当て、落し物についての配慮がどう足りていないのか、何故日本に来て外国人観光客は日本の文化に対応できていないのか、落し物についての認識が低いのかを、訪日外国人に直接インタビューを行ったり、東京都や杉並区のインフォメーションセンターに置いてある訪日外国人観光客向けのパーフレットを収集し現状の確認を行い、私たちの提案する解決策は実際可能なのか、行われていたりしないか、などを調査・分析し、実際に、杉並区で行われた、高円寺阿波踊りの阿波踊り復興協会にインタビューを行い、現状外国人のために落し物対策をしていたりするのかについての実地調査を敢行、また産業振興センターに実際のパーフレットを持ち込み、アイデアの提案をさせて頂き、実際にフィードバック頂きました。

6. 結果や今後の取り組み

杉並区では、訪日外国人旅行者向けの落し物対策は愚か、区に在住する外国人に対しても、落し物についての呼び掛けや、注意喚起などは行っていなかった。しかし、区に在住の外国人向け生活パーフレットなどは存在していた。

そこでまずは、このパーフレットを活用して落し物の取り扱い方法や、届け方法などについて、注意喚起を行ったり、独自で作ったパーフレットの配布で、訪日外国人観光客に、日本での落し物も取り扱いや、届け方法、現在地からすぐ近くの交番を探せるようにする方法の導入（QR コードの活用）を行なって独自に呼びかける。

7. 参考文献

- https://www.excite.co.jp/news/article/Recordchina_20190508007/
- <https://blogs.yahoo.co.jp/r09200829/56244930.html>
- <https://labo.mamorio.jp/archives/report/36105>
- <https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/smph/sodan/otoshimono/kensaku.html>
- <https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/sodan/otoshimono/index.html>
- https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/about_mpd/jokyo_tokei/kakushu/kaikei.html
- <https://www.tourism.jp/tourism-database/stats/inbound/>
- <https://inboundnow.jp/media/knowhow/6400/>
- <https://www.bridgers.asia/business/inbound-kanko/>
- https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/032/411/siryou3-2.3.pdf

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日

経 BP マーケティング) に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください